

さいたま市見沼田圃基本計画アクションプラン（令和4年度～令和8年度）（素案）
パブリックコメント意見募集の結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
1	さいたま市内に文化歴史の知の集積拠点はありますが、農と自然の知の集積拠がないので、見沼田んぼをみても「ただ畑が広がっているだけ」「端っこの方に雑木林がある」というぐらいにしか見えないのが大変残念である。こうした場所の知識を入手できるよう整備してもらいたい。	—	1	情報収集の拠点として、自然情報に関しては南部浄化センター内に併設している「みぬま見聞館」があり、農業に関しては、P.37に記載している「農業交流施設の整備」により、整備を進めてまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
2	芝川小学校の南東側に公園を整備する計画があるが、墓地公園として整備してはどうか。墓地公園であれば、避難場所としてテントを張るのは容易であり、納骨堂など工夫すると屋内退避所として活用できると思う。	31 (34)	1	担当課に情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
3	サイクリングマップはとて面白いと思う。見沼田んぼは広いので、公共交通機関の駅、停留所などの近くにレンタル自転車を置いて、そのマップもつけてほしいと思います。	44 (50)	1	現在シェアサイクルとして市内に公民合わせ340か所以上のサイクルポートが整備されています。また、サイクリングマップは、区役所情報公開コーナー、コミュニティセンター、支所などで配布しております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
4	所有者の高齢化等で荒れてしまっているところは、若者等と仲介するなどして農業をはじめとした整備につなげてほしいです。	—	1	遊休農地の解消については、P.30の農業支援策の策定、P.35～P.36の農業政策により、農地の適正管理を推進してまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
5	所々で使われている「グリーンインフラ」という言葉について、これまで「グリーンインフラ」という言葉がなかった時でも、見沼田圃の緑の管理や活用は市民の活動などで維持されてきたと思いますが、今、「グリーンインフラ」という新しい言葉を見沼田圃のアクションプランで使用する必要性について説明したほうが良いと思います。	21 (24)	1	P.21「グリーンインフラの推進」において、グリーンインフラの考え方をまとめ、見沼田圃における必要性について説明させていただきました。 見沼田圃において新たにグリーンインフラとしての位置づけを行い、市民活動団体の取り組みを推進したいと考えております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
6	3月29日午後、見沼代用水東縁の井橋近辺で、堤防遊歩道沿いのケヤキと思われる2-3本の大木を、業者（外国人の作業員数名）が伐採しているのを目撃しました。緑道沿いの樹木（しかも大木）を伐採するなど胡のほかです。実効性ある緑のマスタープランであることを念じます。なお、作業員に聞いたところ、市の許可を得ての仕事と説明していました。	—	1	施設維持管理など、やむを得ぬ伐採等がございますが、景観に配慮した維持管理を行ってまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
7	見沼の景観は素晴らしいと思いますが、浦和・南浦和・武蔵浦和からだだと実際以上の距離感を感じます。越ヶ谷バイパスに自転車専用道を整備するなどして、上記浦和周辺エリアからの自転車による移動を促進してはどうかと思います。	—	1	自転車専用道の整備については、担当課に情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの（ ）内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
8	広大な地域ですが、たとえば調整池側では、大宮公園側を意識する掲示等が少ない?ように思います。一体感のある掲示等の運営、中学校・高校も含めた学校教育への折り込みをお願いします。	—	1	P.43「案内サインの整備」において、アクセス性や回遊性向上のため、案内板等の整備を行います。また、見沼田圃の全体的なPRについて、取り組んでまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
9	地域の歴史を広く知ってもらうことは大切なことと思います。また、散策などの機会には地域の歴史等の解説ボランティア的な活動も取り入れてはいかがでしょうか。	—	1	見沼田圃の歴史や文化を知ってもらうことは見沼田圃の魅力発信のためには大切なことと考えております。既に見沼田圃において解説ボランティアの活動なども行われており、今後充実させていきたいと考えております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
10	県立浦和西高校の元保護者で作った「ニシハライド」という合唱団西高斜面林友の会という見沼田んぼの保護活動と関わり深い団体から見沼田んぼの歌があるが、風化しているのでぜひニシハライドで復活させて欲しいという依頼を受け、私どもの指揮指導者とピアニストが古いカセットテープの音源から楽譜を起こしました。「見沼讃歌」という楽曲です。歌詞に歌われている見沼田んぼの四季・情景は、今も変わらない私たちの故郷そのものです。見沼田んぼの存在を皆さんに知って、大切にしていってもらえるのに、この曲が何かお役に立てないかと思い、意見として寄せさせていただきました。歌の背景に移り変わる見沼の四季を見られる動画がありますので、よろしかったらご覧になってください。 https://nishiharide.crayonsite.net/ 合唱団のホームページです。2ページ目の下あたりに、「見沼讃歌」を記載しております。	—	1	見沼田圃には「案山子」などの童謡もあり、今後「見沼讃歌」も含めた見沼田圃の魅力発信に取り組んでまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
11	見沼田圃の魅力を市民だけでなく埼玉県内や県外、更には海外の人にも積極的にアピールすべく整備・開発・運用していただきたい。	—	1	1. 情報発信については、更に強化していきたいと考えており、市外への見沼田圃の魅力発信に取り組んでまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
12	見沼田圃を整備・開発し既存の公園・緑地とも一元的に運営管理して「自然公園都市化」を目指し、国内外の多くの人々が訪れたいと思える魅力的な都市にすべき。例えば「自然動物植物公園」、「スポーツ公園」「市民農園」「見沼通船掘の再開」(観光舟の運用)など。可能であればテーマパークのノウハウ豊富な民間業者に参入してもらい「ユニバーサルジャパン大阪」や「ハウステンボス長崎」など大型テーマパークの開設が望ましいと考えます。	—	1	見沼田圃は主に保水浸透機能の観点から土地利用が制限されてきました。一方で、土地の活用・創造もあわせて推進するためこのアクションプランを作成し、公園の整備などを進めております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
13	整備・開発された「見沼田圃」を県内外や海外の人が訪れてみたいと思えるような分かりやすく魅力的なネーミングにするよう希望します。「見沼田圃」よりも「さいたま自然公園」とか「自然ふれあいパーク」と呼んだ方が良いと思います。	—	1	見沼田圃という名称は、長年、地域の人々が伝えてきた愛着のある名称と考えております。より多くの方に親しんでもらえるよう魅力発信に取り組んでまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
14	桜を柱とした環境整備に興味を持っており、アクションプランとして、さらに具体的な行動計画を策定願いたい。例えば、年間1000本の植樹を行うなど、桜の名所として圧倒的に他を引き離す本数を目指したらどうでしょうか。	—	1	桜回廊内の桜の本数は、市管理樹木だけでも約2000本あり、植栽場所も少なくなっています。今後は、主に、桜回廊の延長から地域資源の活用に重点を置きたいと考えております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
15	見沼たんぼは、まじかで国鳥である「雉」を目にすることのできる貴重な場所です。もっとアピール、保護の対象としたらいかがでしょうか。	—	1	見沼田圃では雉のほかにも多くの野鳥が生息し、飛来し、見沼田圃の魅力の一つです。ご意見については、担当課に情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
16	地球温暖化の進行により、大規模洪水の発生が懸念される状況にある今日、見沼たんぼの流水抑制機能が果たすべき役割は非常に大きい。その観点から、第3章2.(3)①において、グリーンインフラポテンシャルの調査研究についての事業計画の中で「施策の検討、立案」を書き込むことが不可欠であると考えます。避難民の収容能力の現状の明確化、今後の避難民対応への取り組みの検討も行う必要があると考えます。	26 (30)	1	市民プロジェクト1「グリーンインフラ推進プロジェクト」では、見沼田圃のグリーンインフラに関する項目を数値化し、新たな施策の策定につなげることを目的としています。 施策の立案については、事業計画(工程表)の「活用に関する研究・検討」として示しておりますが、分かりやすいよう表記を修正します。 なお、施策の検討にあたっては、防災の取り組みを含め検討してまいります。	P.26/事業計画(工程表)のグリーンインフラポテンシャル調査・研究のR7の記載を「施策の検討、立案」に修正し、R8の記載を、「施策の実施」に修正します。
17	情報発信についてTwitterなどのSNSやYouTubeにアップする等直接的に来訪するであろう人に発信したり、訪れてみたくなるような動画をあげることがより効果的と考えます。サイクリング関係の団体や、ウォーキング関係団体などに情報拡散を期待することも必要かと思えます。	—	1	情報発信については、更に強化していきたいと考えております。TwitterなどのSNSやYouTubeなどを活用した情報発信を行っており、今後も充実させていく予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
18	見沼田圃の保全を、観光収入からの収益等で賄うのは困難と考えている。市の予算やクラウドファンディングなどを活用し、維持管理費用を確保する必要があると考える。	—	1	見沼関連事業に関する予算の確保については、市の財源の他、様々な手法について検討してまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
19	治水について調整池の整備は周辺関係エリアへの災害対策として必要と考えます。池ができれば水鳥等の野鳥が飛来棲息したり、水生生物植物が棲息したりという生物個数の拡大も期待できます。池の周囲を自然観察の遊歩道として整備して頂ければ持続的に自然環境を味わえる施設とできると考えます。県、川口市との調整で災害対策と自然環境保護の両立を推し進めていって頂きたいです。	—	1	調整池の整備については、埼玉県との事業となっております。現在、芝川第一調整池の整備を行っております。ご意見については、埼玉県の担当課に情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
20	本計画は、脱炭素社会に向けても貢献・関連するものだと思います。「脱炭素社会」に関する記載は、P22に一部ありますが、P23の施策体系の中など、全体を通して、あまり反映されていないように感じますので、グリーンインフラを通じた効果や関連性など記載いただいても良いのかと思います。	29 (32)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」は、さいたま市のゼロカーボンシティ実現に向けた共創推進に関する連携協定事業と連携して実施していきたいと考えております。また、事業展開においてはグリーンインフラの効果なども十分意識した取組としていく予定となっております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
21	見沼田圃の今後のあり方として、農家レストランを増やし、「食」を通じた農業への理解促進も必要と考えます。また市内小学校の給食に地元野菜などを積極的に採用して、地産地消を進めてはどうでしょうか。	—	1	P. 37の地産地消の推進事業として、地場農産物を活用した新規加工品の開発支援や農業交流施設の整備などを行うほか、学校教育における食育事業では地場産物の活用に取り組んでいます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
22	p. 2アクションプラン（AP）の位置付け（図）：「2030…まちプラン」を見据えています。2028年に見沼田んぼ開墾300周年を迎えます。見沼田圃A.P. 作成の理念には、この300周年に向けた活動企画・検討であることを含むべきではないでしょうか。	2 (2)	1	見沼田圃開墾300周年については、本アクションプランにおいては、事業期間外となるため掲載は見送りますが、300周年に向けた企画検討をしております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
23	p. 8④一行目「見沼田んぼの歴史や大宮氷川神社」に「氷川女体神社」を加えるべきでは。見沼田圃や竜神伝説を語るには女体神社は欠かせません。また、室町時代まではこちらが「武蔵一之宮」だったのではないかと、との説もあり、北条義時奉納の国重要文化財もあります。	8 (10)	1	P. 8の記載については、アクションプランの上位計画である見沼田圃基本計画に記載されている内容です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
24	p. 10③新都心東エリアにつき、高速道路高架下のビオトープ利用などの検討を盛り込むべきでは。	10 (12)	1	P. 10の記載については、アクションプランの上位計画である見沼田圃基本計画に記載されている内容です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
25	p. 20④SDGsアクション、12/13につき、ゴミ処理負荷低減と自然再生肥料を目的としたコンポスト利用の促進の検討を盛り込んではいかがでしょうか、と考えます。	20 (23)	1	ゴミ処理負荷低減と自然再生肥料を目的としたコンポスト利用の促進、ご意見を担当課に情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
26	今回の3期目プランを策定するにあたり、1期目・2期目の決算額と3期目の予算計画の記載が必要と考えます。	—	1	事業費はプラン進捗管理において重要と考えております。当プランでは、毎年、当該年度の目標設定及び進捗状況の報告を行っておりますが、その際に、当該年度の予算額、前年度の決算額を提示していく予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
27	30ページ目に記載されている「44の分野」と「重点的・優先的36事業」と記載されています。36事業は巻末に記載されていますが、44分野も記載すべきかと思えます。また、「再掲」はどのような意味ですか。	30 (33)	1	44の分野別とは、P. 24の【分野別施策】に記載されている項目のこととなります。また、「再掲」については、複数の重点的・優先的に取り組む施策に記載されている事業で、2回目からの掲載部分について「再掲」と表示させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
28	桜回廊について、回廊として途切れている箇所が東縁、西縁ともに数か所あります。20kmの回廊を期待して来ている人にとって誇大広告と映らないでしょうか。また、代用水沿いの柵が未だに金網の所が多く、折角の桜の景観が削がれています。金網柵は撤去・交換をすべきと思います。景観を損なうポスターや看板はサイズを小さくするすとかの工夫をさせるべきと考えます。桜並木の対岸にある緑地から伸びた大木が桜並木にあたっている箇所が見られます。斜面林などの管理が不足しているように見受けられます。	—	1	桜回廊の延長、景観に配慮した屋外広告や設備の設置、斜面林などの管理について、桜回廊の保全活用には多くの課題があると考えております。一つ一つ課題を解決し、見沼田圃の誇れる資産となるよう取り組んでまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
29	さいたまセントラルパークにテニスコートを作ってください。現在市内の公営のテニスコートだけ大幅に不足しています。	—	1	セントラルパークの整備に関するご意見として、担当課へ情報提供させていただきます。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
30	重点的優先的に取り組む施策(3)農について、掲げられた12の事業は、見沼田圃だけではなく、市全体の問題と考える。見沼田圃基本計画アクションプランだけに掲げるのは、行政の公平性から見て問題視されると考えます。	35~38(40)(44)	1	当アクションプランに掲載されている農業政策は、農業振興ビジョンにも掲載されている事業です。重点的・優先的に取り組む施策は、各所管課所の事業と位置付けられている事業のうち、見沼田圃部分を含む又は抽出して掲載しているものです。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
31	土地利用の実態や方向性を示すゾーニング図の見直しが必要。素案の7つのエリアでは施策をどう組み立て、展開していくのかわかりにくい。特に、⑤、⑥のエリアでは、水田の保全と今後水田を増やすことを明記すべきだ。	9~11(11)(13)	1	ゾーニングの定義については、上位計画である見沼田圃基本計画に記載されている内容です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
32	環境教育は、みぬま見聞館で熱心に取り組まれていると感じたが、更に見沼田んぼ全体で展開する必要がある。高速道路わきのピオトープや小学校で取り組んでいるハンノキプロジェクトを先導的なプロジェクトとして育てていくことが望ましい。	24(28)	1	市民プロジェクトは、地区分野横断的に取り組む事業として位置付けています。環境教育については、重点的・優先的施策の取り組みだけではなく、市民プロジェクトとの中でも取り入れられる部分は取り入れていきたいと考えております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
33	見沼田圃生物多様性プロジェクトについて、見沼田んぼでは様々な形態の市民農園や個人の菜園が営まれているが、景観に配慮したものが望ましい。見沼田圃の景観づくりに取り組むべき。また、先導的な活動をしている市民団体と活動を活かし、総合的な調査をして、真の「市民プロジェクト」を構築すべきだ。	29(32)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、先導的な取り組みをしている市民団体等と連携して実施していく予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
34	見沼散策の拠点整備について、ベンチの設置は評価できる取り組みだが、景観に配慮すべき。それぞれの場所の特徴を活かして景観という総合的な視点、場の形成に貢献できる取り組みとして展開させる必要がある。また、休憩施設には老朽化しているものも多いので、早急な対応が必要である。	33.42(37)(49)	1	見沼散策の拠点整備については、景観に配慮した事業を実施してまいります。また、利用者の安全性を考慮し、老朽化した施設の撤去更新も実施いたします。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
35	見沼田圃基本計画アクションプランの素案を拝見した感想ですが、取組の内容がわからないものがあります。P.31のⅢ(ア)の「見沼代用水管理用通路の安全な歩行空間の確保」では、実証実験を行うとありますが、具体的にはどのような取組をする予定ですか？以前から、桜並木の歩車分離は進めたほうが良いと思っていました。具体的な案があれば掲載してほしいと思います。 また、市民プロジェクト以降のページに写真や図が少ないので、もっと写真があったほうが理解しやすいと思います。ぜひお願いします。	31 (34)	1	安全な歩行空間の確保については、本来、見沼代用水の管理用通路であり、生活用道路としても利用されている桜回廊を全面的に車両通行を禁止することは困難であることから、歩車分離の誘導サインの表示などを検討していきます。 また、写真等の掲載については、できる限り掲載します。	写真の追加掲載を検討します。
36	本市における見沼田圃の役割としているが、さいたま市の各計画を掲載しているのみで見沼田圃そのものの役割が何も記載されていない。見沼田圃が現在どのような機能を持っているのかを明確に記載する。その上でそれらの機能を拡充する項目を選定すべき。また、さいたま市は昨年「水と生きものプラン」を策定しているが、見沼田圃における具体的なアクションプランを設定すべきではないか。	15～18 (18)(21)	1	P.15～P.18は、見沼田圃が市の重要計画に位置付けられていることを示し、まちづくり、環境、農業など多様な分野において重要であることを示しています。 見沼田圃の機能の明確化及び機能拡充につきましては、市民プロジェクト1「グリーンインフラ推進プロジェクト」において、見沼田圃の機能を明確化し、施策展開につなげていきたいと考えております。 また、水と生きものプランにおける見沼田圃のプラン策定に関するご意見については、担当課に情報提供させていただきます。	目次及びP.15の「1.本市における見沼田圃の役割」の表現を、「1.本市における見沼田圃の位置づけ」に修正。
37	P.17現行の緑の基本計画は単に緑の面積だけを指標としているが、さいたま市において「水と生き物プラン」作成により生物の多様性が重要視されたので、単に緑ではなく、生物の多様性の概念を組み込んだグリーンインフラを図るべき。	17 (20)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、グリーンインフラの概念を組み込んだ、自然共生型社会の実現の枠組み作りに取り組む予定となっております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
38	P20 資産の活用や利用に重点が置かれ、見沼田圃が保有する資産価値の回復や増加に関する記載が著しく少ない。一般的に施設を利用するということは、消費行為であるので、消費に見合う生産を見沼田圃内で行う必要がある。すなわち見沼田圃の資産価値を数値化し、その数値を年々向上させるようなアクションプランの作成が求められる。	20 (23)	1	市民プロジェクト1「グリーンインフラ推進プロジェクト」では、グリーンインフラに関する項目を数値化し、新たな施策の策定につなげることを目的としています。調査結果を受けた持続可能性に配慮した施策の立案に取り組む予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
39	P21 (2)グリーンインフラの推進 10行目から見沼田圃は治水機能を維持するために農業生産の場として保全されてきた。との記述があるが、多くの農地等が嵩上げされた現在の治水機能は、どのレベルであるのかを数値で明確にし、この治水機能を損なわないように又はさらなる治水機能の創出について記載すべき。最終行の見沼田圃の緑を活用した取り組みを推し進めていく必要があるとしているが、単に緑の活用と利用面のみ記載されているので、どのような種類の緑を増加させ、どのように利用するのか目的別に記載すべきではないか。アクションプランなのだから行動目標を明確にするため数値を記載すべき。	21 (24)	1	P. 21の記載では、新しい視点の概要を示しております。市民プロジェクト1「グリーンインフラ推進プロジェクト」では、見沼田圃が保有する様々な機能を数値化し、調査結果から新たな施策の立案に取り組むことになっております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
40	P24 分野別施策 土地利用の管理で荒地や耕作放棄地などの環境管理の検討となっているが、生業としての農業から見れば荒地や耕作放棄地であるが、生物多様性から考えれば、これらの土地で大型哺乳類であるキツネなどが繁殖しているの、生物多様性から考えれば、繁殖環境の維持が最低条件。	24 (28)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における自然共生型社会の実現の枠組みづくりに取り組む予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
41	P24 分野別施策 防災施設の整備・機能強化について、治水施設の整備強化となっているが、治水機能の維持を記載すべき。農地などの嵩上げにより見沼田圃内の治水機能は大きく損なわれていることを明記し、維持目標を定め維持すべき。	24 (28)	1	見沼田圃の保水浸透機能を維持するためには地権者等との連携した取り組みが必要となります。市民プロジェクト1「グリーンインフラ推進プロジェクト」による調査を行ってまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
42	P24 分野別施策 緑の概念と生物多様性の概念を分けて記載すべき。自然環境のくくりではなく、見沼田圃の生物多様性をどのようにして維持又は、回復させるのかを記載すべき。SDGsの15は緑でも自然環境でもなく、陸上の生物多様性を課題にしている。	24 (28)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における自然共生型社会の実現の枠組みづくりに取り組む予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
43	P24 分野別施策 観光・交流については、生物多様性の回復又は共存の概念を組み込まないと持続可能な社会の実現性は不可能。例えば日本一長い桜回廊は観光面では良いが、生物の多様性から考えれば、単一の樹木を多数植えることは生物の多様性の面から考えると、マイナスの施策。1年のごく限られた期間のみの打ち上げ花火的な観光は、持続性から考えれば、再考すべき。	24 (28)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における自然共生型社会の実現の枠組みづくりに取り組む予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
44	P24 分野別施策 遊歩道等の整備にあたっては、在来の植物等生物多様性に十分配慮して整備しないと、現在まで残っている在来の植物群落を絶滅させることになるので、環境調査を十分行った上で整備する必要がある。現に桜回廊沿いには、見沼田圃には自生していない園芸品種が多数移植され、外来種対策といは矛盾する活動が行われており、見沼田圃の生物多様性を著しく損なった状況が生じている。道路は整備することが目標ではなく、見沼田圃の生物多様性を損なわない、或いは増加させるような整備が目的であることを明記すべき。	24 (28)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における自然共生型社会の実現の枠組みづくりに取り組む予定です。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
45	P25 市民プロジェクト 各プロジェクトの内容について、概要の前段にプロジェクトの目的を明確にする必要がある。	25 (29)	1	市民プロジェクトの目的については概要に記載しております。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
46	P29 見沼田圃地域における生物多様性の現況について調査を行う必要がある。その上で、各環境別にその生物多様性の維持又は向上手法の検討を行い、計画的に生物の多様性を向上させる。	29 (32)	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における現況調査を行い、自然共生型社会の実現の枠組みづくりを行ってまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。
47	総じて、開発計画や利用計画ばかりで、肝心の治水機能の維持又は工場や水と生き物プランの実施にかかる生物多様性の向上に関する重要事項が欠落している。斜面林と水路、川と一体的な自然環境を最大限活かし、都市近郊の農業生産性を高め、多種多様な生物と共存し、その環境を市民が将来的に享受できるような総合的なアクションプランを望む。	—	1	市民プロジェクト3「見沼田圃生物多様性プロジェクト」では、見沼田圃における現況調査を行い、自然共生型社会の実現の枠組みづくりを行ってまいります。	ご意見につきまして、今後の施策推進の参考とさせていただきます。

集計結果

意見提出者数	21名
意見項目数	47件
修正項目数	3件

※該当するページの()内の数字は、完成版のアクションプランのページ数になります。写真の追加等のレイアウトの変更のため、素案と完成版ではページ数が異なります。